

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年1月14日

【四半期会計期間】 第18期第3四半期(自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)

【会社名】 株式会社アークコア

【英訳名】 ArkCore, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 正 渡 康 弘

【本店の所在の場所】 東京都足立区椿二丁目2番2号

【電話番号】 03(5837)3611(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 土 屋 勉

【最寄りの連絡場所】 東京都足立区椿二丁目2番2号

【電話番号】 03(5837)3611(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 土 屋 勉

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(愛知県名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第17期 第3四半期 連結累計期間	第18期 第3四半期 累計期間	第17期
会計期間		自 2019年3月1日 至 2019年11月30日	自 2020年3月1日 至 2020年11月30日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高	(千円)	1,953,980	2,030,086	2,272,734
経常利益	(千円)	88,887	33,986	61,261
四半期(当期)純利益	(千円)	57,438	22,696	8,730
持分法を適用した場合の 投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	232,825	232,825	232,825
発行済株式総数	(株)	1,970,000	1,970,000	1,970,000
純資産額	(千円)	297,339	348,402	325,706
総資産額	(千円)	1,246,243	1,423,892	1,168,299
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	32.34	12.78	4.92
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	30.86	12.42	4.68
1株当たり配当額	(円)			
自己資本比率	(%)	23.78	24.40	27.79
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	13,339	95,515	16,731
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	22,165	53,135	74,637
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	313,829	207,081	201,516
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	576,047	795,583	546,122

回次		第17期 第3四半期 連結会計期間	第18期 第3四半期 会計期間
会計期間		自 2019年9月1日 至 2019年11月30日	自 2020年9月1日 至 2020年11月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	7.85	6.38

- (注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
2. 当社は、第1四半期会計期間より四半期財務諸表を作成しているため、第17期第3四半期累計期間に代えて、第17期第3四半期連結累計期間について記載しております。
3. 第17期及び第18期第3四半期累計期間の持分法を適用した場合の投資利益は、関連会社を有しておりませんので、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容の変更は下記のとおりであります。

事業の内容の変更

当第3四半期会計期間において、新たな事業として飲食事業を開始しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更があった箇所は以下のとおりであります。

(1) フランチャイズ契約に関するリスク

当社は、ワタミ株式会社との間で「から揚げの天才」フランチャイズ契約を締結し、同社からから揚げの天才のフランチャイズを付与されております。当該契約には各種遵守事項、契約期間、同社による契約解除条項、解除による損害賠償等が定められており、当該契約の継続に支障をきたすような事象が発生した場合には、当社の経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(2) 法的規制に関するリスク

当社の飲食事業については食品衛生法により規制を受けております。当社が飲食店を営業するためには、食品衛生管理者を置き、都道府県知事の許可を受けなければなりません。なお、食中毒を起こした場合、食品等の廃棄処分、営業許可の取り消し、営業の禁止、一定期間の営業停止等を命じられ、当社の経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社は、前年度第3四半期は四半期連結財務諸表を作成してはありますが、四半期財務諸表を作成していませんでしたので、前年同期との対比は記載していません。

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、2020年7月9月期の四半期別GDP実質成長率が4四半期ぶりにプラスに転じました。新型コロナウイルス感染症により、企業収益は大幅な減少が続いており、雇用情勢は完全失業率が上昇する一方、有効求人倍率が大きく減少しておりますが、個人消費は実質消費支出額が増加に転じております。

当社の事業セグメントは、バイク事業、フィットネス事業となっております。当第3四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(バイク事業)

バイクの買取台数は6,963台(前年同期比2.7%減)、販売台数は6,889台(同1.0%増)となりました。また、業者間オークションの相場は、3月及び4月は低調であったものの、5月以降は大幅に回復したことから、売却単価は前年同期比9.9%増、粗利単価は同12.3%増となりました。また、販売費及び一般管理費は、買取りに係る広告費は前年同期比3.8%増、人件費は同10.7%増となりましたが、その他の費目は金額的には横這いで推移しました。

バイク事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,757百万円、セグメント利益76百万円となりました。

(フィットネス事業)

当社は、2020年1月に子会社を吸収合併したことにより、エニタイムフィットネスFC5店舗、ステップゴルフFC2店舗を運営しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために東京都などからの休業要請を全店舗で受け入れて、4月中旬から5月末日までの期間を休業いたしました。その結果、当事業の売上高は、前年同期に子会社で計上した売上高と比較して大幅に減少しております。

フィットネス事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高260百万円、セグメント損失36百万円となりました。

(その他の事業)

当社は、2020年9月にワタミ株式会社との間で「から揚げの天才」のフランチャイズ契約を締結し、飲食事業を開始し、11月に1店舗をオープンいたしました。

当第3四半期累計期間の業績は、売上高11百万円、セグメント損失10百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は売上高2,030百万円、営業利益30百万円、経常利益33百万円、四半期純利益22百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期会計期間末において総資産は1,423百万円となり、前事業年度末と比較して255百万円増加しました。主な要因としては、金融機関からの借入れ及び社債の発行により現金及び預金が250百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末において負債は1,075百万円となり、前事業年度末と比較して232百万円増加しました。主な要因としては、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が111百万円、1年内償還予定の社債を含む社債が130百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末において純資産は348百万円となり、前事業年度末と比較して22百万円増加しております。これは、四半期純利益22百万円を計上したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末の現金及び現金同等物は795百万円となっております。当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は95百万円となりました。主な要因は、得られた資金として、売上債権の減少額24百万円、その他の流動負債の増加額18百万円、減価償却費27百万円の計上及び税引前四半期純利益33百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は53百万円となりました。主な要因は、支出した資金として、有形固定資産の取得による支出22百万円、無形固定資産の取得による支出11百万円、差入保証金の差入による支出21百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は207百万円となりました。主な要因としては、支出した資金としては長期借入金の返済による支出188百万円、短期借入金の返済による支出24百万円、社債の償還による支出20百万円によるものであり、得られた資金としては長期借入れによる収入300百万円、社債の発行による収入144百万円によるものであります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の締結等は下記のとおりであります。

相手先の名称	契約期間	契約内容
ワタミ株式会社	契約期間は5年、契約開始日、終了日は店舗ごとに異なる。 期間満了の6ヶ月前までに双方から解約の申し出がない場合は、さらに5年間継続し、以後も同様とする。	「『から揚げの天才』フランチャイズチェーン加盟契約書」 から揚げの天才出店に係るフランチャイズ契約

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	7,880,000
計	7,880,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年11月30日)	提出日現在 発行数(株) (2021年1月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,970,000	1,970,000	名古屋証券取引所 (セントレックス)	単元株式数は100株でありま す。
計	1,970,000	1,970,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年11月30日		1,970,000		232,825		

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 193,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,776,100	17,761	
単元未満株式	普通株式 300		
発行済株式総数	1,970,000		
総株主の議決権		17,761	

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年8月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

2020年11月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社アークコア	東京都足立区椿 二丁目2番2号	193,600		193,600	9.83
計		193,600		193,600	9.83

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間までの役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、四半期財務諸表等規則第4条の2第3項により、四半期キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

なお、当社は第1四半期会計期間より四半期財務諸表を作成しているため、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書に係る比較情報を記載しておりません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間(2020年9月1日から2020年11月30日まで)及び第3四半期累計期間(2020年3月1日から2020年11月30日まで)に係る四半期財務諸表について、監査法人コスモスによる四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	550,322	801,133
売掛金	68,469	43,752
商品	191,863	195,365
原材料及び貯蔵品	2,506	2,314
前払費用	37,121	39,087
その他	6,668	12,080
流動資産合計	856,952	1,093,734
固定資産		
有形固定資産	152,698	165,433
無形固定資産	11,636	19,267
投資その他の資産	147,010	145,456
固定資産合計	311,346	330,158
資産合計	1,168,299	1,423,892
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,528	7,354
短期借入金	24,998	-
1年内償還予定の社債	40,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	229,180	190,130
未払法人税等	15,385	2,568
賞与引当金	10,091	2,642
その他	84,305	123,120
流動負債合計	413,488	395,816
固定負債		
社債	140,000	240,000
長期借入金	274,167	425,004
その他	14,938	14,669
固定負債合計	429,105	679,673
負債合計	842,593	1,075,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	266,598	266,598
利益剰余金	100,858	78,162
自己株式	73,858	73,858
株主資本合計	324,706	347,402
新株予約権	1,000	1,000
純資産合計	325,706	348,402
負債純資産合計	1,168,299	1,423,892

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	2,030,086
売上原価	1,038,126
売上総利益	991,959
販売費及び一般管理費	961,757
営業利益	30,201
営業外収益	
受取手数料	2,049
助成金収入	11,686
その他	3,375
営業外収益合計	17,110
営業外費用	
支払利息	6,223
社債利息	1,228
社債発行費	5,863
その他	10
営業外費用合計	13,325
経常利益	33,986
税引前四半期純利益	33,986
法人税、住民税及び事業税	7,474
法人税等調整額	3,815
法人税等合計	11,290
四半期純利益	22,696

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期累計期間
(自 2020年3月1日
至 2020年11月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	33,986
減価償却費	27,398
のれん償却額	1,867
株式報酬費用	13,184
賞与引当金の増減額(は減少)	7,449
受取利息	25
助成金収入	11,686
支払利息	6,223
社債利息	1,228
社債発行費	5,863
売上債権の増減額(は増加)	24,717
たな卸資産の増減額(は増加)	3,310
仕入債務の増減額(は減少)	2,173
その他の流動資産の増減額(は増加)	603
その他の流動負債の増減額(は減少)	18,094
その他	2,376
小計	110,897
利息の受取額	33
利息の支払額	7,848
法人税等の支払額	19,253
助成金の受取額	11,686
営業活動によるキャッシュ・フロー	95,515
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	1,350
有形固定資産の取得による支出	22,356
有形固定資産の売却による収入	1,040
無形固定資産の取得による支出	11,806
差入保証金の差入による支出	21,459
差入保証金の回収による収入	8,786
出資金の払込による支出	30
その他の支出	5,960
投資活動によるキャッシュ・フロー	53,135
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	24,998
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	188,213
ファイナンス・リース債務の返済による支出	2,385
社債の発行による収入	144,136
社債の償還による支出	20,000
割賦債務の返済による支出	1,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	207,081
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	249,460
現金及び現金同等物の期首残高	546,122
現金及び現金同等物の四半期末残高	795,583

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて) 第1四半期会計期間から新型コロナウイルス感染症の感染対応の影響に関する会計上の見積りに重要な変更はありません。

(四半期貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
広告宣伝費	103,222千円
給与手当	263,544千円
賞与引当金繰入額	2,642千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
現金及び預金	801,133千円
預入期間が3か月を超える定期預金	5,550千円
現金及び現金同等物	795,583千円

(株主資本等関係)

当第3四半期累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計 (注)2
	バイク事業	フィットネス 事業		
売上高	1,757,530	260,643	11,913	2,030,086
セグメント利益又は セグメント損失()	76,519	36,025	10,291	30,201

(注) 1 「その他」の区分には、当事業年度より開始いたしました飲食事業が含まれております。

2 「セグメント利益又はセグメント損失()」は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	12.78円
(算定上の基礎)	
四半期純利益(千円)	22,696
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式に係る四半期純利益(千円)	22,696
普通株式の期中平均株式数(株)	1,776,333
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	12.42円
(算定上の基礎)	
四半期純利益調整額(千円)	
普通株式増加数(株)	51,587
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年1月13日

株式会社アークコア
取締役会 御中

監査法人コスモス

代表社員
業務執行社員

公認会計士 富 田 昌 樹 印

業務執行社員

公認会計士 相 羽 美 香 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アークコアの2020年3月1日から2021年2月28日までの第18期事業年度の第3四半期会計期間(2020年9月1日から2020年11月30日まで)及び第3四半期累計期間(2020年3月1日から2020年11月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アークコアの2020年11月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。